

整理No. 2019-32		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生場所		第3工場 場所:1F充填設備エリア			
災害発生日時		2018年5月17日(木) 18時頃			
災害区分		不休災害		休業災害	
被災者	部門	製造課		雇用形態 正社員、派遣、契約、その他()	
	年齢	21歳	性別: 男 女	勤続年数	2年
	傷病名	病名 (骨折)			
	傷病部位	左足親指末節			
災害発生状況	コンテナを洗浄後、コンテナ内部へプレート		   		
	の組付け作業を2名で行なっていた。				
	(コンテナにプレートを載せた時の状態の写真はA参照)				
	組付けは、プレート位置を決める、専用治具を通常通り使用。(写真B)				
治具の留め金が緩み、約1.3mの高さから治具のみが落下。安全靴の防護された部分に一度落下したが、バウンドし、防護されない左足親指付近に再び落下した。(写真C)		写真A コンテナ内部へのプレート組付け作業			
左足親指の末節骨折。全治1.5ヶ月。		写真C 専用治具が外れ左足の上に落下			
2つある留め金のうち1つが壊れた状態だった。メーカーへ修理依頼をしていたが、使用せざるを得ない状況となり使用してしまった。		写真D 床置き作業方式			
災害の型 ^{※1)}		3,4	作業の形態: 定常 非定常、その他()		
起因物: 治具		特記事項 なし			
原因分類	1.人的要因(man):留め金が壊れた状態でも使える判断をした 2.物に関する要因(machine):留め金が壊れていた 3.環境要因(media):①吊った状態で、治具をつける作業だった。②治具が落ちる危険認識が低かった 4.管理的要因(management):治具を使用するスケジュールを把握していなかった				
対策	1.に対して:危険性の周知とともに異常発生時の報・連・相についてを徹底するよう指示した 2.に対して:治具の修理を実施 3.に対して:吊り上げ時に取り付ける作業はやめ、床置きで取り付けられるような高さ数センチの高上げ台の上で行うよう(床置き方式 写真D)に作業変更し、落下リスクを抑制。 プレート組付け作業には、落下の危険性があることをポイントカードに追記。教育も実施。 4.に対して:週間生産予定表の活用 対策分類 ^{※2)} :1-4、1-6、1-2、2-4、2-1、2-2				
備考	類似箇所の摘出:なし				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)